



2022年7月28日

デジタル人材の育成計画を策定

豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市、社長:小山享)は、自動車業界の環境変化に対応し、将来にわたる持続的成長を実現するため、デジタル人材*の育成を加速させます。

当社は、中期経営計画(2025 事業計画)で「イノベーション・新モビリティへの挑戦」を活動の柱に掲げ、ゴム・樹脂のコア技術を活かした新領域での事業開拓、CASE に対応した新技術の開発などに取り組んでいます。今後、社会のニーズに対応した新たな価値を提供していくための有効な手段として DX を通じた業務改革を推進するために、デジタル人材を育成していきます。そのなかでも業務を進めるうえで中核となるスタンダードレベルのデジタル人材を 2025 年までに 270 人、2030 年までに 400 人に増やす目標を策定、社外からのデジタル人材の採用に加え、社内での育成体系を整備し、計画的な人材育成に取り組めます。

2022 年 1 月に各職場から人選された受講者を対象に研修を開始、7 月にはスタンダードレベルの「デジタルアーキテクト」「データサイエンティスト」を 80 人認定しました。今後、さらに取り組みを加速させるため、社外から採用した DX プロジェクトの経験豊富な「エキスパート人材」が中心となり、研修の運営、各職場で実務を進めるための指導や助言を行うなど、社内での人材育成サイクルを確立していきます。

- ※ 当社では経済産業省のモデルを参考に、デジタル人材として以下の 3 職種を定義している。
- (1) 「デジタルアーキテクト」: 最新のクラウド技術などに精通し実装ができる。
 - (2) 「データサイエンティスト」: 大量のデータから情報を抽出・分析し業務改善へ反映できる。
 - (3) 「DX リーダー」: デジタル人材を指揮して DX を推進できる。

デジタル人材育成の体系

